

協定留学近況報告書

記 入 日	2018年 11月 26日
留 学 先 大 学	シェフィールド大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語): マネージメントスクール, (現地言語での名称): Management School</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2018年09月－2018年06月
明 治 大 学 での 所 属	経営学部経営学科__専攻 / __研究科__専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部2年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

私は出発前に明治大学の留学オリエンテーションだけに参加しました。特に準備不足だったことはありませんでした。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: Tier 4	申請先: VFS Global ビザ申請センター (東京)
ビザ取得所要日数: 2週間ほど (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 23,250 円(Immigration Health Surcharge) + 53,940 円(ビザ申請の費用)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

日本国籍の方でも、マレーシアの方でも、Differentiation Arrangementという書類免除の選択肢を選ぶことができるので、必要とされる書類はパスポートだけでした。しかし、航空券を一刻も早く購入したくて、申請が却下されないように、私は出生証明書、自国のIDカード、CAS(留学許可書)と親の銀行の残高証明書も提出しました。

具体的な申し込み手順を教えてください。

まず、CAS number を待つことです。CAS number が来たら、ビサを UK Visa & Immigration オンラインで申請します。申請する際に、色々な個人情報と書類の提出のアポイントメントの希望日を書き込みます。予約した日に VFS Global ビザ申請センターに行って、全ての書類の提出を終わせば完了です。後は、申請のお知らせを待つことです。

ビザ取得に関して困った点・注意点

CAS number がなかなか来なかったのが、ビサの申請はだいぶ遅れた点です。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

- ① ビサを申請する時の書類と CAS が出入国管理局で聞かれるので、持っておく必要があります。
- ② 現金調達準備に関しては、Master Card か Visa があれば、いつでも現地で ATM からお金を引き出せます。私は、自国の銀行を利用しています。デビットカードを 2 枚、クレジットカードを 1 枚準備しました。海外でお金を下ろすことができるカードを用意した方がいいと思います。なぜなら、イギリスはキャッシュレスがほとんどといっても、カードで済ませることができるとは限らないからです。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	British Airway			
航空券手配方法	British Airway のホームページで航空券の手配をしました。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	Manchester Airport	現地到着時刻	7:45	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー
移動の所要時間	シェフィールド駅までに電車で1時間かかりました。そこから寮までにタクシーで10分ほどでした。			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

実は Meet & Greet という学校の人から出迎えるサービスがありました。学校が用意したバスで直接に寮まで行けるようです。バスで同じく新入生と友達を作ることができるので、お勧めします。私の場合は申し込みが遅れてしまったため、結局一人で電車でシェフィールドにきました。

大学到着日	9月10日 14:30 時頃
-------	----------------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(イギリス人)	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	留学先からの合格通知メールが来てから、MUSE アカウント(大学のアカウント)を作って、住居の申請を始めました。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

トラブルは特にありませんでした。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月10日から9月15日
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容の様子は？	色々なイベントが行われています。例えば、学部のビルの案内、シェフィールド市の案内、アイスブレーキング、交流会、イギリスにおける文化の講座会、カラオケがありました。 イベントは一週間に何回も行うので、全てのイベントに参加する必要がありません。 もしオリエンテーションに参加できなければ、次の週に Introduction Week があります。その週に Society(サークル)などの募集や履修登録が行われます。しかし、その週に授業がすでに行われる場合もあります。私の場合は、その週に授業がありませんでした。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月24日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

ビザを申請する際、BRP(Biometric Resident Permit)の届け先はシェフィールド大学の住所にしたので、在留カードはオリエンテーションウィークに大学でもらいました。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

オリエンテーションウィークに大学で無料で予防接種を一本注射されました。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

現地でHSBC銀行の口座を開きました。必要な書類は、パスポートと現地の大学からもらえるBank Letterだけです。全ては無料になります。開設するのに2週間ほどかかりました。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

私は Pay As You Go タイプの SIM カードをマンチェスター空港のターミナル2にあるコンビニで購入しました。Pay As You Go とは、契約を結ぶ SIM ではなくて、必要な分だけトップアップする SIM カードのことです。身分証明書などは必要がありません。そして、現金で入手することもでき、30 ポンドぐらい用意すればいいと思います。



V. 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(6月 14 日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他(学部の担当者さんが授業の単位などのことを確認してから登録してくれます)

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

留学生は現地の学生と違った時間帯に登録します。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

私は、志願書類を提出した時に、希望した科目がほとんど却下されました。アプリケーションの審査で何度も交渉しましたが、結局に取りたい科目が取れませんでした。現地に着いて、色々な手段を用いて交渉して、やっと取りたい科目を履修することができました。私はマレーシアの学歴のおかげで、pre-requisite 科目を取らずによりレベルが高い科目を履修できました。そうでないと、許可を受けることが不可能でした。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00				起床			
9:00			起床				
10:00	起床	起床		Enterprise & Entrepreneurship (Tutorial)			
11:00			International Marketing (Lecture)		起床	起床	起床
12:00		授業の予習・復習・課題の取り組み			授業の予習・復習に取り組み	授業の予習・復習・課題の取り組み	授業の予習・復習・課題の取り組み
13:00	Business Intelligence (Tutorial)			Enterprise & Entrepreneurship (Lecture)			
14:00	Business Intelligence (Lecture)		授業の予習・復習・課題の取り組み	International Marketing (Tutorial)	授業の予習・復習・課題の取り組み	友達の家でパーティー	
15:00							
16:00							
17:00	English Class (Grammar)						
18:00							
19:00			時々パーティーに行ったり Bar でお酒を飲んだりすることがある				
20:00	授業の予習・復習・課題の取り組み						
21:00							
22:00							
23:00							
24:00			就寝				

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

イギリスに来てからの最初の月は、ほとんど友達を作ることに終始していました。Society (サークル)に参加したり、サークルが設けたイベントとか飲み会などに行ったりしたので、勉強に時間をあまりさげませんでした。

授業の3週目になると、宿題の量の多さを感じ始めて、勉強に専念するようになりました。

この授業の形式は明治大学のと少し違って、講義以外にもチュートリアル(演習みたいなもの)があります。講義は毎週に、チュートリアルは2週間一回に行われます。一見に授業の数が少ないように見えますが、ここで重視されたことは自主性です。特にチュートリアルで自分の意見を言えるように、前もってリーディングを熟読することが要求されています。もちろん、科目のレベルの高さによってリーディングの難易度と量も異なります。例えば、私は今 International Marketing という Level 3(明治大学の4年生に等しい)の科目を取っていて、毎週に合計 200 ページほどのテキストと論文を読まなければいけません。

住居に関しては、大学の寮は明らかに料金がなくて、都心部までも遠くて、選べる選択しも限られています。今度シェフィールド大学に留学したい方がいれば、自分でネットで Student Accommodation を探したほうがお勧めします。

大学の寮には、Allen Court、Endcliffe、Ranmoor 三つの場所があります。Allen Court は都心部にあり、新しくできた住宅区であり、留学生がほとんどあそこに住んでいます。Endcliffe と Ranmoor は都心部まで歩くのに40分ぐらいかかりますが、ここに住む学生はほとんどイギリス人です。

大学にはキャンパスがないので、授業の場所によって移動時間も違ってきます。ほとんどの教室は都心部の近いところにあります。私はすべての授業が Allen Court と Endcliffe/Ranmoor の間である Management School で行うので、都心部に一番離れた Ranmoor に住んでいる私はあまり大変だと思いません。ただし、図書館は都心部にあり遠くなるので、バスで行くことがあります。

イギリスの人が直接的と思われがちですが、実際にここで触れ合ってみて交流したら、イギリス人はある程度に日本の性格と似ています。婉曲に話すことが大事です。そして、ここでもポライトネスが重視されています。Please, Thank you (Cheers), Sorry は毎日のコミュニケーションに使っています。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

留学とは、自分にとっては何ですか。なぜ留学したいのですか。まずこれを明らかにしないと、日本の大学での勉強と経験は違いがないと思います。半年か一年で何もせず終わってしまいます。なので、まず自分の将来像と留学する目的を明確にしてください。そして、現地で常に考えること、自己分析することが大事です。

自分の能力を上げたい、立派な人になりたい、という考え方を持っている人にシェフィールド大学をお勧めします。シェフィールド大学は名門大学なので、イギリスの優秀な学生だけじゃなくて、世界からエリートが集まる海外の学生も多くいて、切磋琢磨できる場所だと思います。私はグループで課題への取り組みをすることで、改めてたくさん自分の欠点と個々の学生との差を認識しました。なので、言語ではなくて、他の面にチャレンジしたい人は是非シェフィールド大学を！ちなみに、シェフィールド大学の理系が非常に強いです。

最後に、always be open to change。カルチャーショックで想像通りにならないことで、よく憂鬱とかその国が嫌いになると思います。” Always be open to change ” というマインドセットを常に頭に入れると、生活がスムーズになれます。日本の常識は海外では必ず常識わけではありません。